

特定非営利活動法人 若い芽を育てる会

事務局所在地：岡山市国府市場 88-10 代表者氏名：守屋 澄子
電話番号：086-275-1253 FAX番号：086-275-1253

文化活動の目的

岡山、日本、世界で通用する若い音楽家（演奏家）の育成を目的としている。

自分の演奏している音をよく聴き、人間性を磨くことが大切なので、若い方たちがその方法をより身に付けられるようにチャンスを提供している。

文化活動の経過

平成16年9月26日には大変お世話になり第31回若い芽のコンサートが開催できた。昭和56年（1981年）第1回若い芽のコンサート及びそのためのオーディションをはじめて31回目になる。コンクールではなくコンサートの出演者をオーディションで選ぶ方法を用いたのが画期的であったのか随分と色々なところから問い合わせがあった。その頃はコンサートの会場が少なく毎回、不規則に決められた日程に岡山市民文化ホールを押さえるのが先ず大変であった。

オーディションは世界的ピアニストである遠山慶子等に変えお世話になりその日の演奏だけで審査、演奏家としての講評を一人ずつにさせていただく方式を大切に現在も続けている。演奏形態も独奏、協奏曲、室内楽と色々であったが第31回はその上の段階をいくものであった。音楽は世界共通語であり心から心へ直接感動を伝えると同時に政治、宗教の壁を越え、純粹に公平でなければならない。現実にはなかなか理解されにくい、続けることで岡山、日本、世界が平和な社会になればと小さいことだが頑張っている。

文化活動の成果

育成活動をしているのでお金にはならず成果が表れるまでに10年15年とかかる。25年以上続けているのですでに演奏活動をされている方もおられ、またこれからの方も増えている。

磨き抜かれた美音追求

現役最年長のトッパチエリストをゲストに、磨き抜かれた美音を追う公演「若芽のコンサート 89歳チエリスト青木十良を迎えて」が十六日、岡山市天神町、県立美術館ホールで開かれる。

青木十良

演奏は、関東一円のアマータ・シオン。楽団員による管弦楽団。名は「音を慈しむ仲間」と銘の指揮者・田

部井剛を中心に昨年、結成された。
ゲストの青木は、九二一五年生まれ、戦後すぐにNHK嘱託演奏家となり、プロシエ、ユエのソナタをはじめ、ノロ、室内楽の分野で数多くのチェロ作品、日本初演、山田耕策、近衛秀麿らととも、にわが国のクラシックの基礎を築いた花形演奏家として知られる。後進の指導にも尽力する。一方、八十五歳で発音したCDが世界で絶賛された。現在も第一線で旺盛な活動を続けてい

若い芽のコンサート 岡山26日

演奏は、関東一円のアマータ・シオン。楽団員による管弦楽団。名は「音を慈しむ仲間」と銘の指揮者・田

平成16年9月22日
山陽新聞より

「継続は力」特に今回財団よりお世話になった第31回若い芽のコンサートは新しい試みでありとても有意義であった。

音楽の演奏には裸の人間性がそのままが表れる。89歳まで現役で活躍されている青木十良の演奏は言葉以上のもの、にじみ出る人間性の豊かさを若い人たちに与え、聴いた人たちにも沢山のエネルギーをくださった。またカメラータ・ジオン（音を慈しむプロの演奏家集団）と一緒に演奏させてもらえたことで若い人たちにはとても刺激になり良い勉強にもなった。

今回助成くださった(財)福武文化振興財団と協賛くださった(株)ベネッセコーポレーションに深くお礼申し上げます。そしてこれからも蒔いた種を大切に育てることでお礼をしたい。



第30回若い芽のコンサート(室内楽)

今後の課題と問題点

1. 運営問題

25年間以上もボランティア団体として経済的にはゼロからの出発を続けている。初心にかえり運営面を見直さなければならない。色々考え平成16年NPO法人になったが、音楽を愛し、協力、支援してくださる足長おじさん、おばさんをさがしている。

2. 内容問題

音楽の音を高め、内容を深めるには人間性の問題になってくる。音楽は下を見れば傲慢になり、上を見ればきりがなく常に勉強を続けなければ他人に感動を与える演奏をするのはむずかしい。時代は変化するし方向を変えずお世話をするにはそれ以上の勉強を続けなければならない。今後どうすればよいのか、課題である。

●執筆者：守屋澄子

若手音楽家と
ベテラン共演

おかやま音楽祭開幕

現役最年長のトップチ
ャーで活躍するベテランが
でるふくかな音色に
はてをゲストに迎えた
訪れた約百八十人が魅
「若い芽のコンサート」

（山形新聞社）共催）
が二日、岡山天神
町の立美芸術ホールで
開かれた。現在も第二線
育成しようと、NPO

若手
音楽
コン
サ



催している。 岡山大学科大付 属高島(年) 伊呂君(チ エリ)「エ ロ協奏曲」で登場した 人が、気鋭 の若手とい 部副演出 を中心に聞 東、田のブ 口で「ア 室内容装 団カメラ タ・ジョ ン	に、加わり、パッパやキ ツールの名曲を演奏し て、 最終回のハイソーン「チ エロ協奏曲」で登場した 青木さんは、戦後、ち早 の日本のチェロ作品を 数多く世界初演した花形 演奏家。生涯をかけて追 求してきた音楽の「心」 を、次代を担う若衆たち と共情的に表現し、会 場を震動した。 「この日はほかに、岡山 市立高島アチアチ演奏 会が、自ら自慢の腕前を披 露する、大好きなジッ クなどとも開かれ、第十 一回のちやま音楽祭(同) 市が主催」は、幕を閉じ た。
---	---

平成16年9月27日
山陽新聞より